

# 市議会だより なかま

■ 第138号 平成23年6月10日 ■ 発行・編集 福岡県中間市議会 / 編集委員会

6月から市内公共施設で

## 議会を生中継

市議会では、このたび議会改革の一環として、開かれた議会を目指し、市民のみなさまへの情報公開を推進するため、四か所の公共施設において、本会議を生中継できるシステムを導入しました。ぜひ、お近くの施設で議会の様子をご覧ください。

定例会は、6月17日から開催されます。

(議員の一般質問は、21日10時から)

### 中継される施設



#### 地域交流センター

住所 大字垣生660番地1  
休館日 月曜、年末年始  
TEL 245-4665



#### なかまハーモニーホール

住所 蓮花寺三丁目7-1  
休館日 水曜、年末年始  
TEL 245-8000



#### 中央公民館

住所 蓮花寺三丁目1-1  
休館日 日曜、祝日、年末年始  
TEL 246-2321



#### ハビネスなかま

住所 通谷一丁目36-10  
休館日 月曜、年末年始  
TEL 245-8686

# 新議員の紹介

議席番号順

所 住 当  
属 選 席  
会 回 数  
派 所 数



3 田口澄雄 61歳

1回  
通谷一丁目14番35号  
日本共産党



2 青木孝子 66歳

4回  
通谷二丁目35番23号  
日本共産党



1 宮下寛 69歳

5回  
垣生239番地  
日本共産党



7 植本種實 62歳

4回  
垣生9組1  
中間クラブ



6 古野嘉久 76歳

4回  
中尾四丁目4番22号  
清風会



5 安田明美 64歳

2回  
弥生一丁目1番35号  
福祉クラブ



4 佐々木晴一 52歳

3回  
中尾二丁目2番10号  
市民の声



11 中尾淳子 64歳

2回  
扇ヶ浦三丁目1番15号  
公明党



10 草場満彦 52歳

2回  
土手ノ内一丁目26番7号  
公明党



9 掛田るみ子 52歳

3回  
中央三丁目24番10号  
公明党



8 井上太一 60歳

6回  
垣生34組  
自民クラブ

\*なお、井上太一は、議長  
の職責上、総合政策委員を  
辞任。

委員長	下川俊秀
副委員長	掛田るみ子
委員	田口澄雄
委員	佐々木晴一
委員	古野嘉久
委員	中野勝寛

### 総合政策委員会

### 常任委員会

委員長	掛田るみ子
副委員長	原田隆博
委員	田口澄雄
委員	安田明美
委員	堀田英雄
委員	中野勝寛
委員	下川俊秀

### 議会運営委員会

議長	井上太一
副議長	古野嘉久

### 正副議長



15 藤本利彦 65歳

2回  
垣生1973番地1  
自民クラブ



14 中野勝寛 36歳

1回  
土手ノ内二丁目25番15号  
自民クラブ



13 堀田英雄 76歳

7回  
長津一丁目12番3号  
明政会



12 山本慎悟 58歳

6回  
浄花町7番16号  
良政クラブ



19 米満一彦 69歳

5回  
通谷二丁目3番6号  
市政会



18 下川俊秀 59歳

3回  
岩瀬二丁目3番18号  
創希改



17 片岡誠二 45歳

4回  
鍋山町1番1号  
自民クラブ



16 原田隆博 49歳

2回  
上底井野1663番地  
自民クラブ

### 人事紹介

五月の臨時会で、各種組合議会の議員を選出し、監査委員の選任にも同意しました。

《敬称略》

#### 遠賀・中間地域広域行政事務組合議会議員

中野勝寛  
下川俊秀  
米満一彦  
中間市行橋市競艇組合議会議員  
古野嘉久  
山本慎悟  
堀田英雄

#### 福岡県中間市外二ヶ町山田川水利組合議会議員

砂山植本秀男  
中底井野中島学  
上底井野花田安郎  
下大隈日高誠司  
堀川水利組合議会議員  
下川俊秀

#### 農業委員会委員

宮下寛  
原田隆博  
監査委員  
堀田英雄

#### 市民厚生委員会

委員長 草場満彦  
副委員長 安田明美  
委員 青木孝子  
植本種實  
中尾淳子  
米満一彦

#### 産業消防委員会

委員長 片岡誠二  
副委員長 藤本利彦  
委員 宮下寛  
山本慎悟  
堀田英雄  
原田隆博



# 常任委員会の審査

各常任委員会では、三月定例会で付託された議案について審査しました。審査の内容は、次のとおりです。

## 総務委員会

### 【補正予算】

#### 一般会計

歳入では、国の一次補正予算により、地方交付税が三千億円増額されたことに伴い、普通交付税四千五百七十万円、生活保護費国庫負担金八千九百九十万円、地域活性化交付金五千九百五十万円がそれぞれ増額されています。また、建設事業費の変更に伴う市債三億五千七十万円が増額されています。

国庫支出金においては、きめ細かな交付金三千六百二十万円や住民生活に光をそそぐ交付金二千三百二十万円がそれぞれ増額されています。

歳出では、総務費として、文書広報費の委託料においては、本市における情報発

信力を高めるためのホームページ更新業務委託料八百万円が計上されています。

一般管理費の共済費では、千四十万円が減額されています。これは旧恩給組合追加費用の額の確定に伴う減額です。

負担金補助及び交付金については、千百五十五万円が減額されています。その主なものは、福岡県市町村職員退職手当組合負担金の確定に伴う減額補正です。また、財政調整基金積立金に五千万円や減債基金積立金に五十万円がそれぞれ計上されています。

### 【条例・その他】

中間市特別職員の給与等に関する条例及び中間市教育委員会教育長の給与、旅費及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例

今回の条例改正は、本市

の財政事情を考慮して、市長等常勤の特別職の給料額を市長は十％、副市長は七％、教育長にあつては四％の減額措置を十七年度から行っています。この減額措置を来年度も引き続き同様の減額を実施するものです。

全員賛成で可決しました。

### 【平成二十三年当初予算】

#### 一般会計

歳入の主なものは、本市の歳入予算の根幹である市税では、景気低迷の影響により、全体では、二億二千九百六十万円の減額となる三十九億四千七百二十万円が計上されています。

もうひとつの柱である地方交付税については、社会保障費の自然増に対応するため、国の財政運営戦略に基づき前年度と比較して、二億千八百十万円増額の総額五十二億五千三百四十万円が計上されています。

基金繰入金については、三億五千六百万円で、二億千四百万円増額となっています。

市債では、建設事業債二億九千万円、臨時財政対策債七億八千九百万円など、

総額十億七千九百万円が計上されており、前年度に比べ一億三千四百万円の増額となっています。

歳出の主なものは、議会費では、地方議会議員年金制度が二十三年六月に廃止されることに伴い、給付に要する経費は各地方公共団体が公費で負担することとなり議員共済費を前年度に比べ六千五百万円増額の八千九百万円が計上されています。

総務費では、職員の人材育成を図り、組織力を高めるため昨年度から実施している人事評価制度支援業務の委託料として二百万円、県知事及び県議会議員、市議会議員選挙の経費を合わせて二千八百八十万円が計上されています。

委員より、東日本大震災に対する対応について質疑があり、執行部より、庁議において、義援金箱の設置場所を九力所や災害派遣職員として、消防署職員四名やボランティア職員の登録準備を行っています。また、救済物資アルファ一米二千二百食を県からの要請に応じて送付する予定との説明がありました。

企画費では、負担金補助及び交付金に千九百万円が計上されています。この主なものは、市内を循環している西鉄バス北九州中間線の運行維持費補助金千三百七十万円です。

消防費では、主なものとして、消防施設費の工事請負費に千二百二十万円が計上されています。

その内容は、太賀団地内に防火水槽一基を設置し、火災を未然に防ぎ被害を最小限にすることで、市民の生命と財産を守り消防体制の強化を図り、安全で安心して暮らせる街づくりを行うものです。

賛成多数で可決しました。

### 公共用地先行取得特別会計

用地の取得計画はありますが、借入金の元金と利子を合わせた六百六十万円の償還金を含む歳入歳出それぞれ六百七十九万円となっています。

賛成多数で可決しました。

### 【陳情】

中間市市庁舎移転の陳情

(継続審査)

# 市民文教委員会

## 【補正予算】

### 一般会計

歳入では、地方消費税交付金四千万円、教育費国庫補助金のうち、安心安全な学校づくり交付金の額の確定により小学校費補助金二百八十万円が増額され、中学校費補助金一千五百五十万円が減額されています。

歳出では、西部出張所戸籍情報システム賃借料百五十万円が計上されています。

教育費の小学校費では、消耗品費九百八十万円、修繕料四百万円及び工事請負費八百三十万円がそれぞれ増額されています。消耗品費は、小学校指導要領全面改定による指導書購入に要するもので、工事請負費は、中間東小学校プール下水道接続工事に要する経費です。

中学校費では、中学校管理運営に要する経費として、委託料六百万円、工事請負費二千八百万円が減額されています。

社会教育費では、図書資

料の購入のための備品購入費六百五十万円、市民図書館改修工事費一億九千九百万円及び図書館改修に伴う書架等の購入のための備品購入費四千万円が増額されています。

全員賛成で可決しました。

### 住宅新築資金等特別会計

二十二年度の歳入で、県の補助金として住宅新築資金等償還推進助成事業費補助金九百五十万円が確定したことによるものです。

歳出では、当初予算に計上されていた公債費に変更はなく、歳入予算の貸付金元利収入九百五十万円が減額調整されています。全員賛成で可決しました。

### 【条例・その他】

**【条例】** 中間市人権のまちづくりセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

隣保館の鉱害復旧による移転新築に伴い、人権のまちづくりセンターを当該施設に移転し、隣保事業と人権・男女共同参画に関する施策を推進していくために必要な条文整備を行うものです。

執行部より、この人権セ

ンターが、本市人権施策の拠点施設としてこれまで以上に機能するよう、また、市民の交流の場としても利用していただければという各施策の推進を図りたいとの説明がありました。

賛成多数で可決しました。



### 【平成二十三年当初予算】

#### 一般会計

歳入では、市税全体では、前年度と比べ、二億二千九百万円減額の三十九億四千七百万円が計上されています。

歳出では、総務費の賦課徴収費で、二十四年度評価

替えに伴う路線評価業務委託料三百万円及び固定資産税課税システム修正委託料等三百万円、市税過年度還付金一千六百万円が計上されています。

衛生費の環境衛生費では、遠賀・中間地域広域行政事務組合への負担金として、火葬施設負担金に前年度に比べ二千六百万円増額の四千五百万円が計上されています。これは新たに建設される火葬施設の敷地の造成及び一部建屋の工事などによるものです。

また、資源回収団体奨励金一千万円が計上されています。

清掃費では、遠賀・中間地域広域行政事務組合への負担金七億四千百万円が計上されています。

その負担金の主なものは、じん芥処理施設負担金五億七千二百万円、し尿処理施設負担金一億一千四百万円、組合事務所負担金五千二百万円となっています。

教育費の教育総務費では、英語活動アドバイザーを非常勤職員から嘱託職員として雇用するための経費及び三十五人学級対応嘱託

職員を雇用するための経費一千百万円が計上されています。

小学校費では、校舎の耐震化を進めるための経費として、中間南小学校の耐震診断委託料一千五百万円、小学校給食調理等業務委託料二千五百万円、中間西小学校トイレ改修工事に要する経費二千二百万円、中間東小学校トイレ改修工事に要する経費四百万円がそれぞれ計上されています。

中学校費では、中間南中学校トイレ改修工事に要する経費千五百万円、中間北中学校耐震補強工事実施設計委託料二百万円がそれぞれ計上されています。

社会教育費では、九州・山口の近代化産業遺産群の追加登録を受け、世界遺産登録推進に要する経費として、発掘調査委託料三十万円及び保存管理計画策定委託料二百万円がそれぞれ計上されています。

保健体育費では、市営野球場土壌改良及び芝生の張替工事を行うための中間市営野球場整備工事費三千八百万円が計上されています。

賛成多数で可決しました。

**住宅新築資金等特別会計**

予算の総額は、歳入歳出それぞれ九十五万円が計上されています。

歳入では、起債に伴う元利償還金として、公債費九十五万円が計上されています。

歳入では、県支出金十二万円、諸収入八十三万円が計上されています。

なお、公債費については、二十三年度をもって、償還が完了します。

賛成多数で可決しました。

**保健福祉委員会**

**【補正予算】**

**一般会計**

歳出の主なものは、民生費の社会福祉費では、知的障害者生活介護介護給付費五百万円と、広域事務組合負担金二百五十万円が増額されています。児童福祉費では、DV等の支援に使用する公用車の購入費用として三百六十万円が計上されています。

生活保護費では、扶助費において医療扶助費の増額などにより一億四千四十九万円が増額されています。全員賛成で可決しました。

**特別会計国民健康保険事業**

歳出の主なものは、医療費の伸びに伴い、高額医療費共同事業医療費拠出金五百二十万円と二十一年度における国庫負担金等の精算に伴い、償還金千七百六十九万円が増額されています。

また、本年度から国民健康保険診療施設となった中間市立病院に対する直営診療施設繰入金百三十万円が計上されています。



額されています。

全員賛成で可決しました。

**介護保険事業特別会計**

保険事業勘定の歳出の主なものは、保険給付費では、居宅介護サービス給付費、施設介護サービス給付費、居宅介護サービス計画給付費及び特定入所者介護サービス費に不足が生じたことから二億七千四百三十万円が増額され、地域支援事業費では、任意事業費九百三十万円が減額されています。

歳入では、国県支出金一億千四百六十万円、支払基金交付金九千二百八十万円、一般会計繰入金三千九十万円、繰越金四千八十万円が増額されています。全員賛成で可決しました。

**後期高齢者医療特別会計**

今回の補正は、保険基盤安定繰入金の額の確定に伴うものとなっています。

歳入では、後期高齢者医療広域連合納付金六千九百六十万円が減額されています。

歳入では、後期高齢者医療保険料六千八百八十万円と、保険基盤安定繰入金七

百八十万円が減額されています。

全員賛成で可決しました。

**病院事業会計**

収益的収支の収入では、病院事業収益の医業収益において、入院患者数の減少などにより一億四百十万円が減額されています。

支出では、病院事業費用の医業費用で八千万円が減額されています。



資本的収支の収入では、固定資産整備企業債五千八百八十万円が減額されています。支出では、当初予定されていたCTの買い替え

を来年度に繰り延べることに伴い、固定資産購入費六千二百七十万円が減額されています。

全員賛成で可決しました。

**【条例・その他】**

**中間市国民健康保険条例の一部を改正する条例**

今回の条例改正は、二十一年十月一日から二十三年三月三十一日までの間、暫定的に四万円を引き上げ三十九万円となっている出産育児一時金の支給額について、出産費用の全国平均が高額化していることを踏まえ、被用者保険の出産育児一時金が二十三年四月一日以降も引き続き、恒久的に引き上げられることとなり、健康保険法施行令の改正が予定されていることから、本市においても、出産育児一時金の支給額を、恒久的に三十九万円とするものとなっています。

なお、産科医療補償制度に加入する医療機関等が出産された方に対する支給額については、現行どおり三万円が加算され四十二万円となります。

全員賛成で可決しました。

【平成二十三年当初予算】

一般会計

歳入では、国庫支出金二十九億八千八百万円、県支出金九億二千二百万円が主なものとなっております。

歳出の主なものは、民生費の社会福祉費では、障害者福祉に要する経費として、障害者自立支援医療費などの扶助費五億千四百万円、後期高齢者療養給付費負担金として五億六千万円、小学校三年生までが対象の乳幼児・児童医療費に一億千四百万円などが計上されています。

児童福祉費では、子ども手当に要する経費として、九億三千七百万円、児童福祉施設入所扶助費に五億九千九百万円、児童扶養手当に要する経費として、三億二千九百万円、中間小学校内に児童保育所を設置する費用として、千百万円が計上されています。

生活保護費では、生活扶助に要する経費として、二十四億二千五百万円が計上されています。

衛生費の保健衛生費では、各種予防接種に要する経費として、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン及び

小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種委託料など一億一千万円が計上されています。賛成多数で可決しました。

特別会計国民健康保険事業

予算の総額は、歳入歳出それぞれ五十五億八千七百万円で、前年度に比べ四千万円の減額となっております。

歳入の主なものは、国民健康保険税九億三千六百万円、国庫支出金十五億八千八百万円、前期高齢者交付金十二億六千二百万円、療養給付費交付金一億三千九百万円が計上されています。

歳出の主なものは、保険給付費三十九億六千万円、後期高齢者支援金等五億五千七百万円、共同事業拠出金七億二千百万円が計上されています。

なお、国民健康保険の被保険者数は、一万三千七百三十七人となっております。賛成多数で可決しました。

介護保険事業特別会計

保険事業勘定とサービス事業勘定を合わせた予算の総額は、歳入歳出それぞれ

四十億二千九百万円で、前年度に比べ五億五千五百万円の増額となっております。保険事業勘定の歳入の主なものは、介護保険料六億二千二百万円、国庫支出金八億九千八百万円、支払基金交付金十一億三千九百万円、県支出金五億六千八百万円、一般会計からの繰入金六億八百万円が計上されています。

歳入の主なものは、要支援、要介護者への介護サービス費用等の保険給付費に三十七億七千万円が計上されています。

サービス事業勘定の歳出では、居宅介護支援事業費三千八百万円、歳入では、予防給付費収入三千八百万円が計上されています。

賛成多数で可決しました。

後期高齢者医療特別会計

予算の総額は、歳入歳出それぞれ六億七千七百万円で、前年度に比べ四千八百万円の減額となっております。

歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料五億三千八百万円、一般会計からの繰入金一億三千八百万円が計上されています。

歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金六億七千三百万円が計上されています。

なお、後期高齢者医療の被保険者数は、六千七百二十八人となっております。賛成多数で可決しました。

病院事業会計

収益的収支では、医業収益と医業外収益及び特別利益を合わせた病院事業収益は、二十億四千八百万円で、前年度に比べ五千五百万円の増収が見込まれています。

医業収益の主なものは、入院収益七億六千四百万円、外来収益十億四千二百万円、患者数については、入院では年間二万六千六百

四十五人、一日平均七十三人、外来では年間七万八千二百二十人、一日平均二百六十六人が見込まれています。

病院事業費用は、二十億四千六百万円で、前年度に比べ五千四百万円増額となっております。

資本的収支では、資本的収入一億四千三百万円に対し、資本的支出一億七千二百百万円で、歳入不足額は、損益勘定留保資金で全額補てんされる予定となっております。

【請願】

国民健康保険税の引き下げを求める請願書

(継続審査)

市議会の虚礼廃止にご理解を

公職選挙法では、次のようなことが禁止されています。

- 議員や後援会が寄附をしたり有料のあいさつ広告を出すこと
- 議員や後援会がお中元やお歳暮をすること
- 議員が暑中見舞いや年賀状などのあいさつ状を出すこと

(自筆の答礼は除く)

市民や団体が議員に寄附などを求めること  
市民の皆様のご理解をお願いします。

# 建設上下水道委員会

## 【補正予算】

### 一般会計

歳入では、国庫補助金の交付額確定に伴う調整により、地域活力基盤創造交付金事業四千二百万円が減額され、通谷一号踏切拡幅事業に伴う鉄道事業者負担金八百七十万円が増額されています。

歳出では、総務費の財産管理費で、虫生津工業団地内の土地開発公社用地三千八百八十九平方メートルを買い戻す費用四千四百三十万円が計上されています。

土木費の道路橋りょう費では、市内道路舗装補修・側溝改修など二千万円が増額され、二夕股・東中牟田線道路改良工事及び御座ノ瀬・中ノ谷線バイパス事業の交付額確定に伴い三千九百六十万円が減額されています。

都市計画費では、犬王古月線街路事業の工事費等精算に伴い、一千二百四十万円が増額されています。住宅費では、公営住宅の維持管理に係る修繕料一千万円が増額されています。

全員賛成で可決しました。

### 水道事業会計

二十二年度分の公的資金補償金免除繰上償還に伴うものです。内容としては、公営企業経営健全化計画が承認されたことから、本年度は、年利六%以上の企業債について、補償金免除による繰上償還が可能になりました。

このことから、企業債償還元金を二千六百万円増額し、資本的支出における予算の総額を五億七千九百万円とするものです。この結果、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額が二千六百万円増額となりますが、当年度分損益勘定留保資金を同額補正し補てんするものです。全員賛成で可決しました。

### 【条例・その他】

【条例】**中間市農事センター設置及び管理に関する条例を廃止する条例**

中間市農事センターは昭和五十三年八月に開設された施設で、建設から既に三十年以上が経過し、建物の耐震基準もクリアしていない施設です。

また、近年は老朽化が進

み、今後さらに建物の維持管理に要する経費の負担が増加していくものと考えられます。このようなことから、同センターを廃止するものです。

委員から、農事センターを取り壊すことに異論はないが、移転先の地域交流センターの中に、表札等もないことから、表札を設置するべきではないかという意見がありました。賛成多数で可決しました。

### 【平成二十三年当初予算】

#### 一般会計

歳入では、交通安全対策特別交付金一千万円、土木使用料九千二百万円、国庫補助金一億一千四百万円、県補助金四千八百万円、財産売却収入四千五百万円が主なものです。

歳出では、総務費の財産管理費で、土地開発公社が先行取得していた用地を買い戻して公売する公有財産購入費等八千五百万円、交通安全対策費に二千七百万円が計上されています。

労働費では国の制度を活用した緊急雇用対策事業費として、一千二百万円が計上されています。

農林水産業費では、農業共済事業費負担金一千三百万円、中間市さくらの里地域交流センターが開館することで、農事センターの機能を移すことから、その解体費として八百万円、中底井野及び上底井野の農道舗装工事・水路改修工事費一千七百万円が計上されています。



垣生公園

商工費では、地域経済活性化対策として、商工会議所が販売するプレミアム付商品券を助成するための経費五百万円が計上され、商業工業振興費として、中間商

工会議所補助金百万円、筑前中間祭り補助金一千五百万円、蓮花寺交差点から通谷電停までの通りと、やすらぎ通りの樹木及び垣生駅前の樹木にイルミネーションを設置する工事費二千二百万円が計上されています。

土木費では、市内道路の維持補修に要する経費に六千九百万円、二夕股・東中牟田線道路改良事業に伴う経費として六千一百万円、御座ノ瀬中ノ谷線バイパス事業に三千四百万円、東中間・深坂線改良事業に二千万円、遠賀川の自然や市内の歴史的景観を残すためのルールづくりを目的とした景観調査業務委託料に五百万円、仮家大膳橋線街路事業に伴う地元負担金六千二百万円、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業に伴う垣生公園の園路バリアフリー工事費などに八千六百万円、市営住宅の補修工事に一千四百万円が計上されています。

衛生費では、合併処理浄化槽設置推進に要する経費として、五百万円が計上されています。賛成多数で可決しました。

地域下水道事業特別会計

予算の総額は、歳入歳出それぞれ八千七百九十五万円となつています。

歳入では、下水道使用料八千七百九十万円が主なものです。

歳出では、曙下水道処理場及び中鶴下水道処理場の維持管理委託料五千四百万円、両処理場の修繕及び光熱水費二千百万円が計上されています。

全員賛成で可決しました。

公共下水道事業特別会計

予算の総額は、歳入歳出それぞれ二十一億四千七百八十万円となつています。

歳入では、下水道受益者負担金として六千八百万円、公共下水道使用料として三億一千四百万円、公共下水道事業費国庫補助金五億四千万円、一般会計からの繰入金五億四千六百万円、公共下水道事業債六億五千五百八十万円が主なものです。

歳出では、大辻蓮花寺幹線外十九地区で実施する管渠築造工事費十億二千九百万円、土手ノ内二丁目地内外四地区の実施設計業務委託料及び事業区域認可変更

業務委託料八千五百万円、ガス管及び水道管移設補償費八千万円、流域下水道処理負担金二億四千六百万円、公債費の元金償還金三億四千七百万円、利子償還金二億三千八百万円が計上されています。

なお、二十二年度末の公共下水道普及率は、約五十七%となり、地域下水道を含むと六十七%になる見込みです。

賛成多数で可決しました。

水道事業会計

本年度の給水戸数は、中間市・遠賀町合わせて二十七千二百八十六戸の給水戸数を見込んでおり、年間総配水量は七百五十一万立方メートルで、年間総有収水量を六百七十立方メートルが見込まれています。

水道事業収益では、十億九千二百万円が計上され、その主な収益として、給水収益の十億一千万円が計上されています。

水道事業費用の営業費用では、人件費、薬品費、給水区域内の漏水防止対策費などで九億二千三百万円、営業外費用では、企業債の借入金利息や下水道工事に

伴う配水管移設の受託工事費用など一億五千五百四十万円が計上されています。その結果、一千二百万円の利益が見込まれています。

資本的収支では、資本的収入一億八千四百七十万円に対し、資本的支出五億七百七十万円が計上され、収入不足額は当年度分損益勘定留保資金等で全額補てんされることとなっています。

建設改良事業としては、中間地区では、県道中間・引野線配水管布設工事など九件、また、遠賀地区では、町道ダイヤニュータウン三十二号線など三件の計十二件の工事が予定されています。

賛成多数で可決しました。



議員・委員会提出議案

【可決したのもの】

公共交通機関のバリアフリー化の更なる推進を求める意見書

拡大生産者責任（EPR）及びデポジット制度の法制化を求める意見書

介護保険の利用者負担や保険料の大幅値上げと介護サービスク削減に反対する意見書

中間市議会委員会条例の一部を改正する条例

中間市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

市長提出議案

【可決したのもの】

中間市一般会計補正予算（第六号）

請願

採択

二〇一一年度年金引き下げの撤回と無年金・低年金者に緊急措置を求める請願書

# 市政に問

3月2日(水)の6名の議員から一般質問がありました。本会議員の質問事項は、おなじみです。

議員	議員	議員	議員	議員
議員	議員	議員	議員	議員
議員	議員	議員	議員	議員
議員	議員	議員	議員	議員
議員	議員	議員	議員	議員

## 中尾淳子議員

### 個人情報保護と自治会活動について

本年四月、市内の町内会と公民館が一元化され、自治会制度へと移行されました。移行の目的の一つは、効率的運営が可能な権限と責任を備えた、新たな自治組織づくりを目指し、これまで以上に地域に密着したきめ細かな活動が期待されると伺っています。個人情報保護法により、新たな転入者の把握が、大変に難しいのが現状です。災害時に一人も見逃さないためにも、自治会役員には、守秘義務を課したうえで、活動に必要な個人情報の適切な提供も必要なのではありませんか。

市長 自治会役員に守秘義務を課すことについては、個人情報保護条例は市の機

関が対象であることから、守秘義務を課することはできないこととなっています。現状では、転入者等の情報提供はお断りしており、各地区役員の皆さまには、住民の協力のもと、隣組名簿を作成していただくなど、可能な限り自主的に住民情報の把握に努めていただくよう、お願いしています。

## 青木孝子議員

### 国民健康保険について

国民健康保険法は「社会保障と国民保健の向上に寄与することを目的とする」と定めています。ところが、国民健康保険税を滞納すると、保険証を取り上げられ、病気になるっても病院に行けず、命にかかわる事態が全国各地で発生しています。市民の負担能力を超えた高い国保税、また滞納世帯への保険証の取り上げや差し押さえなどの制裁措置は、国民健康保険の目的に逆行するものではないですか。

市長 二月現在、資格証明書は百九十一件で、国民

健康保険税の滞納に係る差押額は、二月末現在、約四百五十七万円です。今後も、税の滞納については、きめ細やかな相談と適切な事務処理に努めます。

今年度は厳しい経営状況の中、一般会計からの法定外繰入れ三千万円を補正予算に計上し、赤字の解消を図るべく努力を続けています。このような状況の中で、国保税を引き下げとなると、到底国民健康保険の経営が成り立たず、また、一般会計からの繰入れも容易に増額ができる状況ではないことから、現状を維持する方向で協議をしています。

### 暴力追放について

福岡地裁は、二月七日、市内で指定暴力団工藤会組幹部を射殺したとして、起訴されていた二人の被告人に無罪の判決を言い渡しました。事件現場の近くに住んでいる人は、「こんな事件が未解決では安心して暮らせない」と訴えています。

市長 暴力事件などが相次ぐ中、青少年の健全育成、安心・安全な街づくりをすすめるには、暴力団極政組事

務所の撤去は不可欠です。市長 市民の皆さんが暴力団の被害を受けることなく、安全・安心な生活が送れるよう、あらゆる努力をし、「安全・安心の住みよいまち」、「元気な風がふくまち なかま」を実現するため、関係機関と市民、行政による強い連携のもと、議会の議員の皆さんと歩調を合わせ、ねばり強く暴力追放運動を展開していく考えです。

### 少人数学級について

いじめや不登校、学習に集中できない教室など、学校現場は大変です。子どもたち一人ひとりに向き合える教育環境をつくるには、少人数学級の実施が求められます。

### 教育長

少人数学級編成自体は、県の「少人数学級編成研究指定校制度」や「学級編成の弾力的運用」を活用して実施することは可能で、実際に現在でも、中学校七校で行っています。さらに、市の施策である三十五人学級対応教員の取り組みとして、底井野小学校に一名講師を配置しています。

### 植本種実議員

#### 地域の足とコミュニティバスについて

いわゆる交通弱者のために、「市民の気軽な足となるコミュニティバスの運行を求める請願」が、十二月議会で採択されました。その趣旨には大いに賛同します。

コミュニティバス導入検討会では、どんな議論がされましたか。

コミュニケーションバス導入の場合のメリット、デメリットは議論されましたか。

前回、十七年に導入が中止となりました。それは、どのような理由でしたか。

導入が実現できなかった場合、どうされますか。

**市長** 市内の交通体系の現状把握を行うとともに、いくつかの運行パターンにおける経費の試算などを行い、コミュニケーションバスを導入することによるメリットとデメリットについて検討を進めています。

全競合交通事業者の同意確認作業に入り、バス事業者には路線の一部変更などで概ね了承を得られました

が、その他の事業者については、同意を得ることができませんでした。

市の現状と費用対効果を検討しながら、最適な交通体系を考えていきます。

#### 学童保育について

来年度で全小学校に学童保育所が完備します。「鍵っ子」をなくし、放課後の児童の安全のために、大変良いことだと評価します。

高学年の保育計画はどのようなになっていますか。

対象となる児童は何人で、利用している児童は何人ですか。また、待機児童はいくつか。利用者の自己負担額はいくらかですか。

いわゆる空き教室は各小学校でどのくらいですか。どのような保育が行われていますか。

**市長** 来年度の政府方針案では、学童保育の対象児童を原則、小学校卒業まで引き上げる方針であり、これが決定されると、本市でも同様に対象児童を小学校六年生までとする予定です。

一月末現在の利用者数は、二百六十一人ですが、

学童保育所への入所基準に該当する児童数の把握が困難であることから、利用割合は算出できていません。利用者の自己負担は、毎月一律五千円で、待機児童はいません。

子どもの健康管理、安全性の確保、情緒の安定を図ることを主に、子どもの学習活動を自主的に行える環境づくり、必要に応じた援助等を実施しています。

今後は全ての学童保育所で世代間での文化の交流が積極的に取り入れられるよう指導したいと考えています。

**教育長** 現在の教育課程に沿った教育活動を行う上で全ての教室は重要な役割を果たしています。したがって、「いわゆる空き教室」は存在しません。

### 掛田るみ子議員

#### 支えあう社会を目指す、要援護者避難支援と避難訓練の実施について

中間市災害時要支援者避難支援プラン全体計画が策定されていますが、要支援者リスト及び、個別計画等の進捗状況を伺います。

災害時には、地域住民の協力が不可欠であり、平時より避難訓練を行うことで、要援護者を中心とした、支えあう地域社会のさらなる充実が図られるものと考えます。本市の避難訓練の実施について伺います。

**市長** 全体計画では、被災するリスクが高いと思われる方から重点的に個別計画を策定することとしています。

対象者の情報を収集する方法については、介護保険課が保有する情報を基に、住所、氏名、障害の程度等を把握し、要援護者リストの策定を行うとともに、このリストを基に要援護者マップを作成し、対象者がどこに住んでおられるのかを地図上でも確認できるように、現在、準備を進めています。

避難訓練については、昨年度は、特別養護老人ホーム第二智美園及び土手ノ内市営住宅において、本年度には、中鶴県営住宅において、火災が発生したとの想定で実施しています。

**食と読書とスポーツのまち**  
中間について

住宅都市の本市にとって、人をどのように支え育てていくかが大きな課題であり、市の姿勢をあらわすスローガンを掲げることが、まちのイメージづくりになり、まちの活性化も図られるものと考えます。

地域交流センターがオープン、本議会で図書館の改築とサードブック、市民球場の芝生化の予算が計上されています。ボランティア

による食育の取り組み、教育委員会主催のスポーツフェスタなど、総合的にアピールするかと、食と読書とスポーツのまち中間とのスローガンを掲げ、広く市民の方へ施策をアピールしてはいかがですか。  
**市長** 市民の皆さまにわかりやすく方向性をお示しすることや、インパクトのある事業の組み合わせ、ネーミング等を考えながら、スローガン等の検討をしたいと考えています。



宮下 寛議員

市営住宅の居住性について

市営住宅の中で、障害者向け、高齢者向けとしてつくられている住宅にバリアフリー化が採用され評価されています。ところが、この住宅では、洗面所とトイレ、風呂場がワンフロアになつており、アコーデオンカーテンで仕切られているため、夏場は何ら問題ないが、秋が終わる頃から冬の

時季になると、とても寒く利用できる状態だということ。また、排水溝が浅く、狭小のため、湯がオーバーフローし、トイレや洗面所にあふれ、滑つて腰などを打つて、数日寝込んだ例もあると聞いています。改善が必要ではありませんか。

市長 車いす対応のバリアフリー構造の床のため、浴室と洗面所、トイレの仕切りは段差がなく、浴室の使い方によつては、オーバーフローして洗面所やトイレの方へ水が流れることも十分考えられますが、本来の目的からやむを得ない構造であると考えています。

しかしながら、通常の使用で危険な状態があるとするれば改善しなければなりません。建物の構造上容易に改良ができないため、苦慮しています。

今後も入居者の要望を十分聞きながら少しでも居住性が改善できるよう検討したいと考えています。

住宅リフォーム助成制度の実施について

昨年の議会において提案し、市長の答弁は、「検討したい」とのことでしたが、この制度は全国的に経済波及効果や雇用にも大きな影響があるとして、大きく広がつていて、県下でも広がつている状況ですが、どのような検討がなされたのか伺います。

市長 新年度予算の枠組みでは、プレミアム付商品券事業の方が、中間市において、より経済波及効果の高いものと判断しました。検討した結果、現時点では、市の財政状況や現在の経済情勢等を考慮しますと、住宅リフォーム助成制度を行う余裕はないと、言わざるを得ません。

議員 プレミアム付商品券

の予算は五百万円で、プレミアムが10%付くにしてもそれ以上の広がりはない。助成制度を実施している自治体では、十二倍から十六倍の波及効果があり、地元では「仕事が増え、雇用も増えた」と大いに喜ばれている。

中家多恵子議員

教育行政について

二十三年度中間市教育行政方針について

開かれた学校教育等を推進するための情報公開について

子どもを熱中症から守るために小中学校への扇風機

の設置について

教育長 第一に、児童生徒の「生きる力」を育む教育の推進に取り組みます。

第二に、子ども達の豊かな心を育む教育の充実を図ります。

第三に、児童生徒の健康・体力の増進に努めます。

定例教育委員会や各種審議会等の議事録の情報公開は、閲覧方式としていますが、新年度にホームページの更新を予定して、この際に、ホームページ上でも公開したいと考えています。

気候の動向や他市の状況等を踏まえながら、検討したいと思います。

入札制度改革改善について

国の調査発表による中間市の落札率は高く県内ワースト四位、中間市の自主財源は三十一%で、財政状況は一段と厳しくなつています。入札制度改革改善が急がれます。

市長 市内の建設業者は、経営者はもとより、従業員も多くが中間市民であることから、競争が激化すれば、経営状況の悪化による倒産や廃業によつて雇用が喪失し、生活の不安定化や税収の減少などが懸念され、長期的に本市の経済状況に悪影響を及ぼすものと思われ

ます。

入札制度については、指名競争、条件付一般競争とも従来どおり進めたいと考えています。

多くの市町村では、転入転出が集中する三月、四月上旬の窓口延長や時間内に来庁できない方に、電話受付で夜間交付サービスをしています。市民サービス充実の取り組みを伺います。

市長 市民ニーズを適切に把握し、他市の状況等も踏まえ、検討したいと考えています。

市民窓口サービスの充実について

市民の皆さんに政治や選挙に関心を深めてもらうために、期日前投票立会人と選挙期日の投票事務従事者を市民から募集してはいいですか。経費の大幅削減にもつながります。

市長 投票事務従事者のうち庶務責任者、名簿対照係、投票用紙交付係、監視係以外の受付係、到着番号係、投票用紙交付係の補助者は、市職員以外の方に、従事していただいています。

今後は、多くの方が選挙に関わりを持つただけでなく、他の自治体の状況も参考にし、検討したいと考えています。

市長 投票事務従事者のうち庶務責任者、名簿対照係、投票用紙交付係、監視係以外の受付係、到着番号係、投票用紙交付係の補助者は、市職員以外の方に、従事していただいています。今後は、多くの方が選挙に関わりを持つただけでなく、他の自治体の状況も参考にし、検討したいと考えています。